

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 8 月 7 日

評価対象事業	都政	-	09	新交通システム等整備事業				☐ 法定受託事務	
所管課	交通計画課				評価者	交通計画課長 大江 尚			
一般	会計	款	45	項	20	目	5		
総合計画上の位置付け	分野名	総合交通			施策の方針名		交通環境の整備		

1 事業の目的

対象	市民等	意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	次世代型のモビリティを見据え、高齢者、障害者、子どもなど交通弱者に配慮し、すべての人にとって快適な移動環境を創造する。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	交通不便地域の解消に向けた関係者等との調整	交通体系整備事業に統合	
予算額（千円）	873	0	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	873	0	0
当初人員配置数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	8,537	0	0
事業実績	交通不便地域の解消に向けた関係者等との調整		
決算額（千円）	44		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	44	0	0
人員配置実績数	0.2	0.0	0.0
人件費（千円）	1,657	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	新たな移動交通システム等の導入に向けた協議等を行った地区数	地区数	0	7	0		
	実績につながる活動	鎌倉市地域公共交通計画に、移動困難地域等への対応として新たな運行手法の検討・導入を位置付けた。				0		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・実績に影響する外部要因はなかった
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・令和7年度に鎌倉市交通マスタープランの改定及び鎌倉市地域公共交通計画を策定した中で、交通不便地域等の地域を改めて選定し、新たな運行手法の検討・導入を計画に位置付けたが、特定の地域と具体的な協議等に至らなかった。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	新たな移動交通システムや手段を導入した地区数	地区	0	5	0			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・実績に影響する外部要因はなかった
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・成果指標No.1について、令和7年度に鎌倉市交通マスタープランの改定及び鎌倉市地域公共交通計画を策定した中で、交通不便地域等の地域を改めて選定し、新たな運行手法の検討・導入を計画に位置付けたが、特定の地域と具体的な協議等には至らず目標は達成できなかった。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・二階堂・浄明寺地区においては、社会福祉法人が地域貢献の一環として地域住民が無料で利用できる乗り合い車を運行しているが、令和7年7月から運行本数を増便するなど利便性の向上が図られたが、新たな移動交通システムや手段の導入については、特定の地域と具体的な協議等に至らなかったことから、十分な成果があったとは言えない。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	■ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	□ 十分に出ている	□ 概ね出ている	■ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
		関連・類似事業との統合	■ できる	□ できない	
	公平性	受益者負担	□ 導入済	■ 導入予定	□ 導入できない
方向性	評価実施年度の方角性		⇒ 評価実施翌年度以降の方角性		
	事業内容の方角性	□ 事業内容は現状通り	□ ① 事業内容は現状通りとする		
		□ 事業内容は見直し済	⇒ □ ② 事業内容は見直す	→ □ 拡大	□ 縮小 □ その他
		□ 事業を休止又は廃止済	□ ③ 事業は休止又は廃止する		
方向性	予算規模の方角性	■ 他事業と統合済	□ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
		□ 予算規模は現状維持	□ ⑤ 予算規模は現状維持とする		
		■ 予算規模は拡大済	⇒ ■ ⑥ 予算規模は拡大する		
		□ 予算規模を縮小済	□ ⑦ 予算規模は縮小する		

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった	交通不便地域等の地域を改めて選定し、新たな運行手法の検討・導入を鎌倉市地域公共交通計画に位置付け、導入地域と運行手法を選定し課題解決に取組む。	
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新規事業の必要性はない	新交通システム等整備事業は、鎌倉市地域公共交通計画の推進に係る事業となるため交通体系整備事業と統合することから、現時点で新規事業を立ち上げる必要性は低い。	
	総評	令和7年度に鎌倉市都市マスタープラン及び鎌倉市地域公共交通計画において交通不便地域等の地域を改めて選定し、新たな運行手法の検討・導入を計画に位置付けたものの、特定の地域と具体的な協議等には至らなかったことから十分な成果は得られたとは言えない。		上位施策への寄与度 C

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		地域において求められる新たな移動交通システムは、地域条件や住民ニーズにより異なることから、単純比較ができず他市比較は適切ではない。							